

合意なしで EU を離脱する場合にとる 6 つのステップに係るガイダンス（仮訳）

2018 年 12 月 13 日公表

導入

2019 年 3 月 29 日に英国が合意なしで EU を離脱した場合、英国企業はデータ保護法を遵守し続けることを保証する必要がある。英国内でのみ事業を行っている英国の企業にとっては、即時の変更はないだろう。国際的に事業を行っている、または他国の取引先と個人データを交換している英国の企業にとっては、混乱のリスクを最小限に抑えるために、英国の EU 離脱前に、変更が必要かもしれない。

影響を受けるかどうかを評価することは、企業にとって重要である。影響を受ける可能性のある企業は、変更を実施するには時間がかかる可能性があるため、早期の行動が推奨される。

この情報コミッショナーズオフィス（ICO）からのガイダンスは、6 つのステップで、あなたの企業が EU 離脱に備えて何をすべきかを規定している。EU 離脱に関するさらなる情報と資料は、ICO ウェブサイトで見つけることができる。

6 つのステップ

1. 遵守し続ける

GDPR の基準を引き続き適用し、現在の ICO のガイダンスに従う。データ保護オフィサーがいれば、英国と欧州の両方で同じ役割を継続できる。

2. 英国への移転

データフローを見直し、欧州経済領域（EEA）から英国へ、データを受け取る場所を特定する。EU から離脱した後も、データが移転され続けることを保証するために、GDPR のどの保護措置を講じることができるかを考える。標準的契約条項は、そのような GDPR 保護措置の 1 つであり、ICO は、企業が標準的契約条項を理解して完成できるように助けるための対話型ツールを作成した。

3. 英国からの移転

新しい英国の移転および文書管理の規定に該当するため、データフローを見直し、英国から英国以外の国へ、データを移転する場所を特定する。

4. ヨーロッパの事業

ヨーロッパ全域で事業をしている場合は、組織の構造、処理作業、およびデータフローを見直して、英国の EU からの離脱があなたに適用されるデータ保護体制にどのような影響を与えるかを評価する。

5. 文書管理

あなたの企業のプライバシー情報と内部文書を見直して、英国が EU を離脱したときに更新が必要となる詳細を特定する。

6. 組織としての認識

組織内の主要な人々が、これらの重要な問題を認識していることを確認する。EU からの離脱に備える際には、これらの手順を含め、最新の情報とガイダンスに留意する。

完全なガイダンスについては、ICO ウェブサイトをご覧ください。